

# 図書館通信 NO.9



新田暁高校図書館発行  
2024.1.31

## 図書室の本は・・・

生徒の皆さん、お元気ですか？今回は図書室の本について私の考えをお伝えしたいです。本を選ぶ時の参考になればいいなあ。本は読みたいから読むものと、読まなければ作業が進まないから読むものがあるのではないのでしょうか。図書室の本はどちらかという、読みたいから読むものと思ってくれて良いのではないかなあ。図書室へ来て、本棚の前に立ってぶらぶらしていると、なんとなく、「この本、読みたいなあ。」とか、「おもしろそうだ。」と感じるものが見つかるでしょう。そうしたら、手に取ってパラパラめくってみて、ちょっと読んでみる。もっと先まで読みたくなったら借りてみる。たいてい、自分に合っている本なら最後のページまで読み終わる。途中で読みたくななくなったら、「今現在の自分には、向いていないから、もっと年をとってから、縁があったらまた読もう。」ということにして返却する。そうしていると、やがて、お気に入りの一冊に出会えます。

## おすすめ図書 『ワンダーランド急行』

荻原浩 著（日本経済新聞出版）

私がこの小説から感じとったテーマは、“人生の選択”です。作中で主人公はいくつかのパラレルワールドをめぐるのですが、ほんの少しの選択の違いでそれぞれ全く別の世界へ迷い込んでしまいます。なんとか元の世界に戻ろうとするのですが、うまくいきません。これは物語なので、元の世界に戻るためのチャレンジができますが、そもそも現実の世界ではそれすらできません。時は過ぎ去ってしまったら呼び戻せないのですから。誰も後悔したくないので、慎重に選択をしたいものですが、よく考えて選んだつもりでも失敗はつきものですし、じっくり検討する時間を与えられない場合や、選択する自由を与えられない場合さえあります。せめて自分で選べるときだけでも納得のいく結果が得られると良いですね。この小説を読むと、今まで捨ててきた選択肢の先に今ここにいる自分とは別の自分がいたのかなあ、などと空想してしまいますね。

## 『物に囲まれてすっきり暮らす』

古堅純子 著（大和書房）

今までに片づけに関する書物をいくつか読みました。著者によって片づけ方法がいろいろあって、比較するのもおもしろいものです。今回紹介する本では“捨てずに”片づける方法が学べます。生徒の皆さんは物があふれるほどある時代に生まれたので、捨てることを苦も無くできるのかもしれませんが、年寄りにとってはつらいことなのです。そういう点でこの本は良いです。また、若い人たちでも、コレクションしている物は捨てることができず、増える一方で置き場に困るということもあるでしょう。この本だけでなく、たくさんの片づけ本を読んで自分なりの片づけ方法を見つけることをおすすめします。

## 新着図書案内（1月分）

	分類	書名	著者・編者・監修者	出版社
1	723	マンガで「なるほど名画」	山上やすお	SBクリエイティブ
2	913	あなたが誰かを殺した	東野圭吾	講談社
3	821	漢字の成り立ち図鑑	吉田裕子監修	成美堂出版
4	913	太閤暗殺	坂岡真	幻冬舎
5	913	いまこそガーシュウィン	中山七里	宝島社
6	913	ラザロの迷宮	神永学	新潮社
7	913	最愛の	上田岳弘	集英社
8	913	百鬼園事件帖	三上延	KADOKAWA
9	913	ヴァンプドッグは叫ばない	市川憂人	東京創元社
10	913	おかえり、めだか荘	北原里英	KADOKAWA
11	913	素敵な圧迫	呉勝浩	KADOKAWA
12	913	黒い糸	染井為人	KADOKAWA
13	913	ちぎれた鎖と光の切れ端	荒木あかね	講談社
14	913	熱風団地	大沢在昌	KADOKAWA
15	953	ポストカード	アンヌ・ベレスト	早川書房
16	913	八月の御所グラウンド	万城目学	文藝春秋
17	913	存在のすべてを	塩田武士	朝日新聞出版
18	783	革新的守備・走塁パフォーマンス	高島誠	日本文芸社